

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コトノハ放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 3日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R8年 1月 17日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児一人ひとりの特性や認知・理解に合わせた支援の実践	利用児のアセスメント、職員間での日々の情報共有、保護者との認識のすり合わせ等	OTやST等の専門職からの見解や助言を反映させた個別支援計画書の作成・実施
2	家庭での困り事や悩みに対しての情報共有や助言等の家族支援	・連絡帳やケアコラボ等のツールを活用したご家族との情報共有 ・引き継ぎや懇談での保護者の方との綿密なコミュニケーション	・保護者の方が相談しやすい職員との関係性づくり ・児の関わっている関係機関との連携強化(学校、相談支援専門員、他事業所等)
3	様々な経験や体験のできる場の設定	・月に1回実施している、課外活動 ・法人内の就労B型事業所への作業体験	施設外での体験活動や、地域の方と関わる体験活動の設定

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースに対する人口密度の高さ	療育スペースの狭さ、スケジュールリング、人員の配置等	スケジュールリングの工夫、放デイ療育時間中に使用可能なスペースの確保、他事業所との調整
2	限られた利用時間(長期休暇期間中)	職員の人数不足、療育スペースの狭さ、活動内容や設定の固定化	運営体制や利用時間、スケジュールリング等の見直し
3	実施する活動や場面設定の固定化	職員の人数不足による対応可能な活動の制限、運営上の問題	活動の種類やバリエーションを増やす、環境設定も含め柔軟に対応する